



注射処方箋によるゴールデンウィーク(GW)の調剤・搬送について

今年のGWは10連休のため、最長12日分の調剤を行うこととなります。これを一度に搬送すると薬剤部のみならず、病棟でも混乱を起こしかねません。また、中止による削除や修正で大量の返却も予想されます。

従いまして、業務を円滑に遂行するために注射処方箋によるGW中の調剤・搬送は当日および翌日の実施日分のみとさせていただきます。

例) 5/3は5/3の実施分+5/4の実施分を調剤・搬送、5/5の実施分は5/4に調剤・搬送する。

なお、詳細を電子カルテトップページの掲示板にも掲載予定ですのでご参照ください。

投与期間制限解除のお知らせ

◎ゲーフィス錠 5 mg(一般名:エロピキシバット) <胆汁酸トランスポーター阻害剤>

◎シダキュアスギ花粉舌下錠 2,000 JAU、5,000 JAU(一般名:スギ花粉エキス原末) <スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬> ※臨時採用薬

◎リムパーザ錠 100 mg、150 mg(一般名:オラパリブ) <抗悪性腫瘍剤>

◎レキサルティ錠 1 mg(一般名:ブレクスピプラゾール) <抗精神病薬>

薬価収載後1年が経過するため、2019年5月1日から投薬制限が解除され長期投与可能となります。

(当院では、連休に伴うシステム上の都合により、5月8日より長期投与開始となります。)

オーダー中止のお知らせ

オーダー中止日	薬剤名	理由
2019. 3. 25	キイトルーダ点滴静注 20 mg	販売中止のため削除
2019. 4. 2	イオメロン 350 注 50 mL	ベソリス皮下注オートインジェクター 200 mg採用のため、削除
	エクリラ 400 μg ジェヌエア 60 吸入用	イフィゾ点滴静注 500 mg 採用のため、削除
	カリメート経口液 20%	ケイサレトドライシロップ 76%採用のため、削除
	グラクティブ錠 25 mg	グラクティブ錠 50 mg 採用のため、削除
	コアヒビター注射用 10 mg	処方オーダーデータに基づく削除医薬品
	サレドカプセル 100	処方オーダーデータに基づく削除医薬品
	シムジア皮下注 200 mg シリンジ	シムジア皮下注 200 mg オートクリック採用のため、削除
	スターシス錠 90 mg	スージェア配合錠採用のため、削除
	チオラ錠 100	グリチロン配合錠採用のため、削除
	デスマプレシン・スプレー 10	処方オーダーデータに基づく削除医薬品
	ナベルビン注 10	ベージコ 150 mg 採用のため、削除
	ピートルチュアブル錠 250 mg	ピートル顆粒分包 250mg 採用のため、削除
	ファルモルビン注射用 50 mg	ベージコ錠 50 mg 採用のため、削除
	プロスター錠 25	処方オーダーデータに基づく削除医薬品
	ヘプタボックス-II	販売中止のため削除
	ホスミシンS 静注用 2 g	献血ノスロン注 1500U 採用のため、削除
ポトレンド配合散	処方オーダーデータに基づく削除医薬品	
リスモダンP 静注 50 mg	プラレント皮下注ペン 150 mg 採用のため、削除	
経口用トロン細粒 1万単位「サリ」	処方オーダーデータに基づく削除医薬品	
2019. 4. 4	★ユナシン-S 静注用 1.5 g	処方オーダーデータに基づく削除医薬品
2019. 4. 8	カリクレイン錠 10 単位	販売中止のため削除

効能・効果、用法・用量、禁忌改訂のお知らせ

◎アクテムラ点滴静注用80 mg、200 mg(一般名:トシリズマブ(遺伝子組換え))<ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体>

【効能・効果】腫瘍特異的T細胞輸注療法に伴うサイトカイン放出症候群

【用法・用量】トシリズマブ(遺伝子組換え)として体重30 kg以上は1回8 mg/kg、体重30kg未満は1回12 mg/kgを点滴静注する。

◎オノアクト点滴静注用50 mg(一般名:ランジオロール塩酸塩)<短時間作用型β1選択的遮断剤>

【効能・効果】生命に危険のある下記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合:心室細動、血行動態不安定な心室頻拍

【用法・用量】ランジオロール塩酸塩として、1μg/kg/minの速度で静脈内持続投与を開始する。投与中は心拍数、血圧を測定し1~10μg/kg/minの用量で適宜調節する。なお、心室細動又は血行動態不安定な心室頻拍が再発し本剤投与が必要な場合には、心拍数、血圧を測定し最大40μg/kg/minまで増量できる。

◎デュピクセント皮下注300 mgシリンジ(一般名:デュピルマブ(遺伝子組換え))<ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体>

【効能・効果】気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る)

【用法・用量】成人及び12歳以上の小児にはデュピルマブ(遺伝子組換え)として初回に600 mgを皮下投与し、その後は1回300 mgを2週間隔で皮下投与する。

◎ドネペジル塩酸塩OD錠5 mg「タナベ」(一般名:ドネペジル塩酸塩)<アルツハイマー型・レビー小体型認知症治療剤>

【効能・効果】アルツハイマー型認知症及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制

【用法・用量】成人にはドネペジル塩酸塩として1日1回3 mgから開始し、1~2週間後に5 mgに増量し、経口投与する。5 mgで4週間以上経過後、10 mgに増量する。なお、症状により5 mgまで減量できる。

◎ファムビル錠250 mg(一般名:ファムシクロビル)<抗ヘルペスウイルス剤> ※臨時採用薬

【用法・用量】単純疱疹:成人にはファムシクロビルとして1回250 mgを1日3回経口投与する。また、再発性の単純疱疹の場合は、通常、成人にはファムシクロビルとして1回1000 mgを2回経口投与することもできる。

◎ハイゼントラ20%皮下注4 g/20mL(一般名:人免疫グロブリンG)<血漿分画製剤(皮下注用人免疫グロブリン製剤)>

【効能・効果】慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合)

【用法・用量】成人には人免疫グロブリンGとして1週あたり200 mg(1 mL)/kg体重を1日又は連続する2日で分割して皮下投与するが、患者の状態に応じて、最大400 mg(2 mL)/kg体重から投与を開始することもできる。なお、維持用量は200~400 mg/kg体重で適宜増減する。

◎フォシーガ錠5 mg(一般名:ダパグリフロジン)<選択的SGLT2阻害剤-糖尿病治療剤->

【効能・効果】1型糖尿病

【用法・用量】インスリン製剤との併用において、成人にはダパグリフロジンとして5 mgを1日1回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら10 mg1日1回に増量することができる。

◎ラボナ錠50 mg(一般名:ペントバルビタールカルシウム)<催眠・鎮静剤>

【禁忌】急性間歇性ポルフィリン症の患者〔酵素誘導によりポルフィリン合成を促進し、症状を悪化させるおそれがある。〕

◎ラストレット注100 mg/5 mL(一般名:エトポシド)<抗悪性腫瘍剤>

【効能・効果】腫瘍特異的T細胞輸注療法の前処置

【用法・用量】再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。

◎リウマトレックスカプセル2 mg(一般名:メトレキサート)<抗リウマチ剤>

【効能・効果】局所療法で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

◎リツキサン点滴静注100 mg、500 mg(一般名:リツキシマブ(遺伝子組換え))<抗CD20モノクローナル抗体>

【効能・効果】CD20陽性の慢性リンパ性白血病

【用法・用量】他の抗悪性腫瘍剤との併用において、成人には、リツキシマブ(遺伝子組換え)として初回に1回量375 mg/m²、2回目以降は1回量500 mg/m²を、併用する抗悪性腫瘍剤の投与サイクルに合わせて、1サイクルあたり1回点滴静注する。最大投与回数は6回とする。

◎ブドウ糖「コザカイ・M」(一般名:ブドウ糖)<糖類剤> ※臨時採用薬

【禁忌】(注射)低張性脱水症の患者 →削除

【効能・効果】注射 →削除

◎マドパー配合錠(一般名:レボドパ・ベンセラジド塩酸塩)<パーキンソニズム治療剤>

【禁忌】非選択型モノアミン酸化酵素阻害剤投与中の患者 →削除

適正使用のお願い

◎ゼルヤンツ錠5 mg(一般名:トファシチニブクエン酸塩)＜ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤＞

米国食品医薬品局 (FDA) の要請により実施中である、関節リウマチ (RA) を対象とした市販後臨床試験の中間成績において、ゼルヤンツ10 mg1日2回投与群 (本邦でのRAの承認用量外) で肺塞栓症および全死亡の頻度が上昇したことを発表しました。

また、FDAは、2019年2月25日に上記試験に基づく安全性情報を発表し、その中で次のように述べています。

- 医療関係者は、患者さんの状態を考慮し、トファシチニブ処方情報 (添付文書等) に記載された内容を遵守してください。
- 肺塞栓症の徴候や症状 (急な息切れや呼吸困難、胸痛や背部痛、喀血、過度の発汗および冷汗等) をモニタリングし、疑われる症状があらわれた場合にはすみやかに医師の診察を受けるよう患者さんを指導してください。

日本における本剤のRAに対する承認用法・用量は5 mg1日2回投与であり、上記試験で認められた安全性シグナルは、国内未承認の用法・用量におけるものです。しかしながら、国内で現在進行中のRAを対象とした製造販売後調査 (全例調査) において、本剤の1日投与量が20 mgであった症例で、重篤な副作用が3例報告されています。

本剤の使用にあたっては、承認された用法・用量内でご使用いただき、引き続き、患者さんの安全確保にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

製造販売承認承継、販売移管のお知らせ

◎アルファカルシドールカプセル 0.25 μ g、1 μ g「EE」(一般名:アルファカルシドール)＜活性型ビタミン D₃ 製剤＞

◎オランザピン錠 10 mg「EE」(一般名:オランザピン)＜抗精神病薬・双極性障害治療薬・制吐剤＞

◎フルボキサミンマレイン酸塩錠 25 mg、50 mg「EMEC」(一般名:フルボキサミンマレイン酸塩)＜選択的セロトニン再取り込み阻害剤 (SSRI)＞

◎フロセミド細粒4%「EMEC」(一般名:フロセミド)＜利尿降圧剤＞

販売元変更: エルメッドエーザイ株式会社→日医工株式会社 (2019年4月1日)

製造販売元変更: エルメッドエーザイ株式会社→エルメッド株式会社 (2019年4月1日)

◎ゾシン静注用 4.5(一般名:タゾバクタム)＜ β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤＞

販売元変更: 大正富山医薬品株式会社→大鵬薬品工業株式会社 (2019年4月1日)

「エンドキサン錠50 mg」自主回収のお知らせ

◎エンドキサン錠50 mg(一般名:シクロホスファミド水和物)＜アルキル化剤＞

アルキル化剤「エンドキサン錠50 mg」において、定期安定性試験 (24箇月) において、溶出試験が承認規格 (45分間、80%以上) に適合しない結果が得られたため、当該ロットが自主回収となりました。

当院において対象ロット番号の製品はすでに使用済みですが、現在までに本件に起因すると考えられる有効性の欠如及び健康被害の報告はありません。

「カルベニン点滴用0.25g・0.5g」欠品及びオーダー一時停止のお知らせ

「カルベニン点滴用0.25g・0.5g」 (一般名:パニペネム・ベタミプロン) ＜カルバペネム系抗生物質製剤＞において、原薬製造中止により、当該製品の原薬の入手が出来なくなったため、当該製品が欠品することとなりました。

これに伴い、4月2日からオーダーを一時停止いたしました。

当院で使用可能な代替薬を以下に示しますので、ご検討下さい。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

＜当院採用の代替薬＞

オメガシン点滴用0.3g、チエナム点滴静注用0.5g、フィニバックス点滴静注用0.5g、メロペネム点滴静注用0.5g
「明治」

包装変更・使用期限変更等のお知らせ

◎アブラキサン点滴静注用 100 mg(一般名:パクリタキセル)＜抗悪性腫瘍剤＞

個装ケースのビニールカバー削除、シュリンク包装に変更、バイアルラベル変更、個装箱のデザイン変更

◎イブランスカプセル 125 mg(一般名:パルボシクリブ)＜抗悪性腫瘍剤＞

PTP シートのデザイン変更

◎エストラーナテープ 0.72 mg(一般名:エストラジオール)＜経皮吸収型エストラジオール製剤＞

薬袋の色調変更、薬袋の裏面に薬剤の使用方法が追加、患者指導箋のデザイン変更

◎ザノサー点滴静注用 1 g(一般名:ストレプトゾシン)＜抗悪性腫瘍剤＞※臨時採用薬

バイアルのゴム栓部の形状変更

◎ジーラスタ皮下注 3.6 mg(一般名:ペグフィルグラステム(遺伝子組換え))＜持続型 G-CSF 製剤＞

使用期限: 2年→3年

◎ソラントール錠 100 mg(一般名:チアラミド塩酸塩)＜鎮痛・抗炎症剤＞

識別コード変更

◎ニカルジピン塩酸塩注射液 10 mg「日医工」(一般名:ニカルジピン塩酸塩)＜注射用 Ca 拮抗剤＞

アンプルラベル、個装箱のデザイン変更

◎ヒュミラ皮下注 40 mg シリンジ 0.4 mL(一般名:アダリムマブ(遺伝子組換え))＜ヒト型抗ヒト TNF α モノクローナル抗体製剤＞

パッケージデザイン、ブリスターラベル、ペン取扱説明書の記載内容変更

◎メサデルム軟膏 0.1%、ローション 0.1%(一般名:デキサメタゾンプロピオン酸エステル)＜外用副腎皮質ホルモン剤＞

個装箱、ラベルのデザイン変更

「レビトラ錠10 mg」供給一時停止のお知らせ

「レビトラ錠 10 mg」(一般名:バルデナフィル)＜勃起不全治療剤＞(※臨時採用薬)につきまして、海外工場における生産遅延により、在庫がなくなり次第供給の停止期間が発生いたします。

今後の供給再開時期につきましては、判明次第お知らせします。

「ソル・メルコート静注用40 mg、500 mg」欠品及びオーダー一時停止のお知らせ

副腎皮質ホルモン剤「ソル・メルコート静注用(全規格)」において、海外原薬メーカーの変更手続きに時間を要することから、出荷量が制限されていましたが、このたび、「同薬剤 40 mg」及び「同薬剤 500 mg」が欠品となりました。

これに伴い、4月2日から「ソル・メルコート静注用 40 mg」、4月6日から「ソル・メルコート静注用 500 mg」のオーダーを一時停止致しました。

当該薬剤の代替薬として、4月2日より「ソル・メドロール静注用 40 mg」、4月4日より「ソル・メドロール静注用 500 mg」がオーダー開始となりました。

オーダー開始のお知らせ

臨時採用薬

オーダー開始日	薬剤名
2019. 4. 5	☆ポリドカスクレロール1%注2 mL
	☆ニンラーロカプセル3 mg
	☆コバルトトリイ静注用1000
	☆イデルビオン静注用1000
	☆イデルビオン静注用2000

★医薬品による筋障害に関するゲノム研究について

厚生労働省及び国立医薬品食品衛生研究所は、ゲノム情報を活用した予測・予防型の副作用安全対策を実現するため、重篤な副作用に関する発症患者ゲノム試料及び臨床情報を収集し、その解析を行い安全対策へ活用するべく研究を行っている。本稿では、薬剤性筋障害研究の海外状況と研究成果について紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

◎トラスツズマブ(遺伝子組換え)(商品名:ハーセプチン注射用60, 150)＜その他の腫瘍用薬＞

【重大な副作用】腫瘍崩壊症候群：腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるので、血清中電解質濃度及び腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置(生理食塩液、高尿酸血症治療剤等の投与、透析等)を行うとともに、症状が回復するまで患者の状態を十分に観察すること。

※腫瘍崩壊症候群：2例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年9月)

◎ニボルマブ(遺伝子組換え)(商品名:オプジーボ点滴静注20 mg, 240 mg)＜その他の腫瘍用薬＞

【重大な副作用】重篤な血液障害：免疫性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、無顆粒球症等の重篤な血液障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

血球貪食症候群：血球貪食症候群があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※血球貪食症候群関連症例：3例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年10月)

※溶血性貧血関連症例：3例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年10月)

※好中球減少関連症例(無顆粒球症を含む)：12例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年10月)

◎パルボシクリブ(商品名:イブランスカプセル25 mg, 125 mg)＜その他の腫瘍用薬＞

【重要な基本的注意】間質性肺疾患があらわれることがあるので、本剤の投与にあたっては、初期症状(呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び胸部X線検査の実施等、患者の状態を十分に観察すること。また、必要に応じて、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。

【重大な副作用】間質性肺疾患：間質性肺疾患があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。

※間質性肺疾患：6例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年11月)

◎ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)(商品名:キイトルーダ点滴静注100 mg)＜その他の腫瘍用薬＞

【重大な副作用】重篤な血液障害：免疫性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、赤芽球癆、無顆粒球症等の重篤な血液障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。

血球貪食症候群：血球貪食症候群があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※血球貪食症候群関連症例：7例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年10月)

※好中球減少関連症例(無顆粒球症を含む)：4例(うち死亡0例) (平成27年4月～平成30年10月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

「ケーサプライ錠600 mg」「グルコンサンK細粒4 mEq/g」供給制限のお知らせ

経口カリウム補給剤「ケーサプライ錠600 mg」（一般名：塩化カリウム）（カリウム含量：1錠中8 mEq）及び「グルコン酸K細粒4 mEq/g」（一般名：グルコン酸カリウム）（カリウム含量：1g中4 mEq）において、他社製品供給状況の影響により、当薬剤の発注が増加したことから、新規に発注された医療機関（院外保険薬局等）への供給が困難な状況となっています。

つきましては、経口カリウム補給剤を院外処方される際は、上記事項を考慮され、必要時は他の経口カリウム補給剤をご検討下さいますようお願い致します。使用可能な代替薬を以下に示します。

今後の供給再開の見込みにつきましては、分かり次第連絡致します。

【院内採用の代替薬】

アスパラカリウム錠300 mg（カリウム含量：1錠中1.8 mEq）

☆Drug Safety Update No. 278 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ケチアピ [®] ソフマル酸塩 （ケチアピ [®] 錠「明治」、セロケル錠、ビ プレゾ徐放錠）	※重大な副作用：中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜 眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、多形紅斑 …中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑があらわれることがあるの で、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこ と。
クロザ [®] ピ [®] ン （クロザ [®] リル錠）	※重大な副作用：腸潰瘍、腸管穿孔 …本剤の抗コリン作用により腸閉塞、麻痺性イレウス、腸潰瘍、腸管穿孔があらわ れ、死亡に至った例も報告されている。便秘等の異常が認められた場合には適切な 処置を行うこと。
ボノプ [®] ラソソフマル酸塩 （タケキア [®] 錠）	※重大な副作用：中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜 眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、多形紅斑があらわれることがあるので、観察を十分 に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
テノスマ [®] （遺伝子組換え） （ランマーク皮下注）	※重大な副作用： 治療中止後の高カルシウム血症：骨巨細胞腫患者において、本剤治療中止後、高カルシウ ム血症があらわれることがある。 治療中止後の多発性椎体骨折：本剤治療中止後、多発性椎体骨折があらわれることがあ る。
ハ [®] ロキサ [®] ヒ [®] ルマルホ [®] キシ [®] ル （ゾフルザ [®] 錠）	※重要な基本的注意：出血があらわれることがあるので、患者及びその家族に以下を説明 すること。 1) 血便、鼻出血、血尿等があらわれた場合には医師に連絡すること。 2) 投与数日後にもあらわれることがあること。 ※併用注意：ワ [®] ル [®] ファ [®] リン ※重大な副作用：出血： 血便、鼻出血、血尿等の出血があらわれることがあるので、このような症状があらわれた 場合には適切な処置を行うこと。
オセ [®] タ [®] ミ [®] ビ [®] ル [®] リン酸塩 （タミフルカ [®] プセル、タミフルト [®] ライシロ [®] ップ）	※重要な基本的注意：出血があらわれることがあるので、患者及びその家族に対して、血 便、吐血、不正子宮出血等の出血症状があらわれた場合には医師に連絡するよう説明す ること。 ※併用注意：ワ [®] ル [®] ファ [®] リン

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ビルカイト [®] 塩酸塩水和物（注射剤） （サリズム注） フルカイト [®] 酢酸塩（注射剤） （タボ [®] コル注） ベラバ [®] ミル塩酸塩（注射剤） （ワソラン注） ニカルジ [®] ピ [®] ン塩酸塩（注射剤）（添加剤としてソルビ [®] トールを含有する製剤） （ニカルジ [®] ピ [®] ン注「日医工」） 硝酸イソルビ [®] ト [®] （注射剤）（添加剤としてソルビ [®] トールを含有する製剤） （ニトロール注） ベ [®] タメタゾ [®] ンリン酸エステルナトリウム（注射剤）（添加剤としてソルビ [®] トールを含有する製剤） （リンテ [®] ロン注） メナテレノ [®] （注射剤） （ケイツ [®] N 静注） フルカリック [®] （フルカリック輸液） プロチレリン酒石酸塩水和物 （ヒルト [®] ニ注） カルバ [®] ゾ [®] クロムスル本酸ナトリウム水和物（静注用）（添加剤としてソルビ [®] トールを含有する製剤） （アド [®] ナ注） イリナカン塩酸塩水和物 （イリナカン塩酸塩注「タイウ」） ポ [®] リエチレンゲ [®] リコ [®] ール処理抗 HBs 人免疫グロブ [®] リン （ハブ [®] スア [®] リン IH 静注） ポ [®] リエチレンゲ [®] リコ [®] ール処理抗破傷風人免疫グロブ [®] リン （テタノ [®] ア [®] リン IH 静注） コ [®] ナド [®] レリン酢酸塩（静注用） （LH-RH 注射液「タバ [®] 」）	※慎重投与 … <u>遺伝性果糖不耐症の患者〔本剤の添加剤 D-ソルビトールが体内で代謝されて生成した果糖が正常に代謝されず、低血糖、肝不全、腎不全等が誘発されるおそれがある。〕</u>

※DSU について：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) で確認可能